

地域で子どもたちを守る「不審者情報等配信システム」(松山市)

【取組概要】

松山市内で発生した不審者情報等様々な安心安全情報の連絡や妊娠直後からの子育てに役立つ情報連絡に使えるシステムを運用し、安心して安全なまちづくり、また子育てにやさしいまちづくりを目指すもの。

人口 517,711人

担当部署 教育委員会

教育支援センター事務所

取組み事例のURL http://mbyc.jp/09_csc/

【取組みの効果】

不審者情報をいち早く配信することで注意喚起を促し安心安全なまちづくりに寄与した。また年齢層に合わせた子育て情報を配信可能とすることでニーズに即したサービスの提供ができた。



【他団体へのアドバイス】

システムの普及には費用や手続きなど利用者への負担を極力かけないこと、また運用にあたってはトラブルなど様々な対応を可能とする体制づくりが重要である。

【創意・工夫した点】

システム開発や維持費をできるかぎり縮減し、利用者の負担を最小限に抑えた。また運用を社会教育団体が担うことでフレキシブルな対応等を可能とした。

